１６番	新井亜由美　議員

質問タイトル（大項目）	質問項目（中項目）	具体的質問内容（小項目）
１　民有地のがけ崩れに対する国の支援事業の活用について 【趣旨説明】 本市には土砂災害警戒区域（イエローゾーン）が 789 か所、そのうち特別警戒区域（レッドゾーン）が 702 か所あり、近隣の尾張旭市、長久手市、日進市、春日井市の 4 市合計を大きく上回ります。 自然災害が激甚化・頻発化するなか、本市では災害への備えと被災後の支援が一層重要になっています。 そうしたなか、9 月 8 日の記録的な大雨により、市内の複数箇所でがけ崩れが発生しました。民有地の大規模ながけ崩れにより倉庫やブロック塀が壊れ、車が土砂とともに押し流され、周辺住宅にも被害	（１）被災現場の状況と安全性について	①９月８日の大雨によって市内で発生したがけ崩れの中には、地質専門家による報告書が提出されている箇所もあります。市内でがけ崩れが発生した場合、現地の状況や危険性について、確認や調査を行う体制は、どのように整っているか伺います。 ②本市の丘陵地には、砂礫層や粘土層などからなる「瀬戸層群」が広く分布しています。地質専門家からは、こうした固結度の低い地層は、豪雨や地下水の影響を受け、斜面崩壊を起こすおそれがあるとの見解が示されています。 今回の大雨では、土砂災害警戒区域の指定外でもがけ崩れが発生しました。こうした本市の地形・地質の特徴を踏まえ、警戒区域の指定外も含め、斜面の危険性をどのように把握・評価し、対応することが必要と考えているか伺います。 ③がけ崩れによって、周辺住宅だけでなく、鉄道などの公共交通施設に影響が及ぶことも懸念されます。大雨などによるがけ崩れについて、本市は鉄道などの施設管理者と、どのような情報共有や安全確認を行っているか。また、必要な対策についてどのような協議を進める考えか伺います。
	（２）国の支援事業の目的と活用について	①国土交通省には、災害によって市街地に堆積した土砂の撤去を支援する「堆積土砂排除事業」があります。この事業の目的と概要、対象となる要件について伺います。 ②９月８日の大雨により発生したがけ崩れの復旧に対して、「堆積土砂排除事業」の適応を検討したか。検討した場合、その結果と判断の理由について伺います。

備考　１．必ず、大項目を【１、２、３・・・】、中項目を【（１）、（２）、（３）・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
２．数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
３．ＭＳ明朝体、１２ポイントで記載する。

１６番	新井亜由美　議員

質問タイトル（大項目）	質問項目（中項目）	具体的質問内容（小項目）
が及びましたが、現在も土砂やがれきが残り、復旧できていません。 　こうした被害の復旧に活用できる制度として、国の「災害等廃棄物処理事業」があります。市町村による土砂混じりのがれきなどの撤去を支援する制度で、市は国の担当機関から活用可能との説明を受けたと伺っています。しかし、撤去には至っていません。 　土砂災害のリスクを多く抱える本市は、民有地の被害を所有者だけの問題とせず、市民の暮らしと公共交通の安全を守る課題として受け止める必要があります。国の制度を活用し、関係機関と連携した早期の撤去と安全確保を求め、質問します。	（３）国の支援事業を活用するための課題について	③国は、過去の大きな災害の教訓を踏まえ、民有地の土砂混じりのがれきなどを市町村が撤去する際に、費用を支援する仕組みを整えてきました。環境省の「災害等廃棄物処理事業」について、この事業が整備されてきた背景と目的を、本市はどのように認識しているか伺います。 ④市は中部環境局に相談し、国の支援事業が活用できることも確認したと伺っています。土砂災害の現場に対してどのような支援が可能であるか、具体的な内容を伺います。 ⑤環境省の事業を活用した場合、国からどの程度の財政支援が受けられ、市の実質的な負担額はどの程度になるか伺います。 ①蒲郡市では、令和６年８月の土砂災害に際し、市民の生活環境の保全、公衆衛生上の支障及び二次災害の防止を目的に、環境省の「災害等廃棄物処理事業費補助金」を活用して、公費による撤去等を実施する方針としたことが公表されています。 　一方、本市でも９月８日の大雨によるがけ崩れについて、同事業が活用可能との説明を国から受けたと伺っていますが、現在も土砂混じりのがれきが撤去されずに残されている箇所があります。 　こうした他市の事例も踏まえ、本市が国の支援事業を活用した撤去を実施していない具体的な理由は何か。また、事業を活用しないと判断しているのであれば、その判断の根拠について伺います。

備考　１．必ず、大項目を【１、２、３・・・】、中項目を【（１）、（２）、（３）・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
　　２．数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
　　３．ＭＳ明朝体、１２ポイントで記載する。

１６番	新井亜由美　議員

質問タイトル（大項目）	質問項目（中項目）	具体的質問内容（小項目）
	（４）被災現場の復旧に向けた市長の考えについて	①市長は、令和 5 年以降の施政方針や予算大綱で、安全で快適な暮らしや防災・減災の推進を掲げ、市民の命と財産、生活環境を「守る」ことを重視してこられました。 大規模ながけ崩れは、被災した当事者の生活環境の回復だけでなく、周辺住宅や鉄道施設の安全確保にも関わる問題です。また、国の支援事業が活用できることも確認できています。 近年激甚化・頻発化している自然災害に備えるためにも、市長が掲げてきた「守る」という方針を今回の災害対応に生かし、市長が先頭に立って、国や県とも協議し、国の支援事業を活用した土砂やがれきの撤去など、具体的な支援につなげるべきと考えます。今後の対応方針について、市長の見解を伺います。

備考　１．必ず、大項目を【１、２、３・・・】、中項目を【（１）、（２）、（３）・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
２．数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
３．ＭＳ明朝体、１２ポイントで記載する。